

荒田茂丸 うらた しげまる 宮司。明治五年奈良皮懸生れ（一八七二）。國學院卒。
大正七年春日田豐の後を承け、橿原神宮宮司となる。昭和六年伊勢神宮
少宮司。

著書『はじめの天皇』（大正十年二月十一日官報大社橿原神宮藏版、建業
書院）、『各神社祭式祝詞講義』（大正十三年八月一日奈良・橿原神
宮講社本部）、『橿原の縁酒』（縁酒の文藝）（昭和十五年一月二十一日平凡社）、
『孔子廟参拜記』（昭和十六年一月一日平凡社）等。

